

—5.16.18、激動の10年代にけ更なる一歩を踏み出す—

唯研春季講演会

全市大の学友諸君！院生、教職員諸君の危機と激動の10年代に突入してはや4ヶ月をむかえた。その間に世界は激しく揺れ動き、急速なめまぐるしさをもつて型は展開していく。『戦前戦中の3段階の更なる進行過程』を歩みつつある現代世界は、あの英雄的なイバシナ人民の帝民族解放斗争を先頭とする国際反帝平和勢力の斗争連帯は、一にぎりの帝に主権を更なる孤立化と対峙し、情勢は我々にとり極めて明るい展望を示している。けれど日本階級斗争は、その前にたてて日本共産党がトロツキズム、右翼日和見主義におちいることにより極めて困難な状況に陥っている。しかし我々は現象が複雑に錯綜すればするほどその現象を通して貫徹するところの本質を鋭くみきわめ、累積する諸矛盾の具体的解決形態を明確に提示することを我々自身の手に、握ちとらねばならない。混乱し低迷を続ける日本階級斗争の理論戦線において、歴史的にその正しさが検証されてきたところのマルクス・レーニン主義を今こそ具体化し、豊富化し発展させることこそ、若き唯物論者たる我々の任務なのである。

全市大の学友諸君、院生、教職員諸君、以上の意義をふたえた上、全市大唯物論研究会は、下記の内容において春季講演会を開催する。全市大の真理を愛し、科学に学ぶとする諸君、とりわけ院生諸君の積極的参加を要請する。

5月16日(土) 1時半

“現代イデオロギー批判”

大阪経大 山本晴蔵

215教室

18日(月) 1時半

“カンボジア情勢と安保斗争”

市大経済学部大学院

水沢明

“学生戦線統一の方向”

京大唯研 立石治

未定

市大唯物論研究会